

《担当者名》講師 / 久保 儀忠  
准教授 / 吉田 栄一

## 【全体目的】

近年、我が国において高齢化社会や医療の高度化を背景に、国民医療費の増大が指摘されている。薬剤師は、適正な医薬品の使用とともに医療費の適正化に貢献することが求められている。本講義では、国民医療費、社会保障、薬価基準における制度等に関する知識を修得するとともに、調剤報酬の算定方法及び薬物療法の経済評価の手法について学修する。

## 【学修目標】

国民医療費、社会保障、薬価基準における制度等に関する知識を修得する。  
調剤報酬を算定できる能力を身につける。  
医療を経済面から分析・評価できる能力を身につける。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	医薬品・医療産業市場	<p>医薬分業の歴史、現状を概説できる。 医薬品の市場の特徴と流通の仕組みについて概説できる。</p> <p>関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 B-(4)- -2 B-(3)- -1</p>	久保 儀忠
2	社会保障制度と財政	<p>日本の社会保障制度の枠組みと特徴について説明できる。</p> <p>関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 B-(3)- -1</p>	吉田 栄一
3	医療関連制度と医療経済	<p>医療保険制度について説明できる。</p> <p>関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 B-(3)- -2</p>	吉田 栄一
4	診療報酬改定と保険薬局	<p>調剤報酬、診療報酬及び介護報酬の仕組みについて概説できる。 医療費の適正化に薬局が果たす役割について説明できる。</p> <p>関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 B-(3)- -7 B-(4)- -5</p>	吉田 栄一
5	調剤報酬算定の実際	<p>調剤報酬、診療報酬及び介護報酬の仕組みについて概説できる。</p> <p>関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 B-(3)- -7</p>	吉田 栄一
6	国民医療費の動向 薬剤費（薬剤比率）	<p>国民医療費の動向について概説できる。 薬剤費の動向について概説できる。</p> <p>関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 B-(3)- -2</p>	久保 儀忠
7	薬価基準制度 薬価算定方式	<p>薬価基準制度について概説できる。 新規医薬品の価格を決定する要因について説明できる。</p> <p>関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 B-(3)- -6</p>	久保 儀忠

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
8 }	費用対効果の実際	薬物療法の経済評価手法について説明できる。	久保 儀忠
9		関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 B-(3)- -4	
10	判断分析モデル	モデルによる分析手法について説明できる。  関連するモデルコアカリキュラムの到達目標 B-(3)- -4	久保 儀忠

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

到達目標への到達度をレポート（100%）により評価する。

【参考書】

「スタンダード薬学シリーズ 薬学総論 薬学と社会」東京化学同人  
「国民衛生の動向2020年」厚生労働省  
「厚生労働白書」厚生労働省

【備考】

プリント配布

【学修の準備】

社会薬学 で学習した社会保障制度、調剤報酬・診療報酬、国民医療費及び費用対効果について復習を行い講義に臨むこと。（100分）

【関連するモデルコアカリキュラムの到達目標】

B 薬学と社会

(3) 社会保障制度と医療経済

【 医療、福祉、介護の制度】

【 医薬品と医療の経済性】

(4) 地域における薬局と薬剤師

【 地域における薬局の役割】

【薬学部ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

3. 多職種が連携する医療チームに積極的に参画し、地域のおよび国際的視野を持つ薬剤師としてふさわしい情報収集・評価・提供能力を有する。

【実務経験】

久保 儀忠（薬剤師） 吉田 栄一（薬剤師）

【実務経験を活かした教育内容】

薬剤師としての実務経験を通じて得た知識・技術・態度等を活用し、実践的な教育を行う。